

注意事項

施工上の注意

- *アルミ笠木には防水機能はありません。下地には必ず防水処理をして下さい。
- *みだりに改造、改良をしないで下さい。
- *組立て部品・ネジは当社指定品を使用して下さい。
- *ブラケット・アンカーの取付ネジ部には、必ずシーリング材を充て込んで下さい。
- *ボンド工法で使用する接着剤は、必ず当社指定のものを使用して下さい。
- *取付は必ず専門業者で行って下さい。

メンテナンス

腐食の最大の原因は、大気中にあります。

大気中の汚れには ①ほこり ②すす(ばい煙) ③鉄などの金属粉 ④亜硫酸ガスなどの排気ガス ⑤海塩などがあります。これらがアルミの表面に付着し、そのまま放置しておくことで空気中の湿気や雨水の影響を受けてアルミを腐食させてしまうことがあります。

年に1～2回の水洗いで腐食は防げます。

アルミを腐食から守る最も効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に1～2回の水洗いと空拭きをするだけで大きな効果をもたらします。汚れのひどい工業地帯や海岸の近くでは、状況に応じて回数を増やして下さい。

建物の立地条件と清掃の頻度

基本的には汚れが目立つ前の清掃をお勧めします。あくまで参考としてご覧ください。

臨海工業地帯・・・5～6回/年 海岸・工業地帯・・・4～5回/年
市街地・・・2～3回/年 田園地帯・・・1～2回/年

*メンテナンスには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属製ブラシや金ペラの使用は避けて下さい。

*洗剤は、必ず中性洗剤をうすめて使用して下さい。

*小石、砂などが付着したままこするとアルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いて下さい。

使用上の注意

*次のような使い方をしますと、製品の破損による、物の落下、人の転落、建物の損傷などの危険があります。

- ・手摺にロープ等をかけて、重い物を搬入・搬出しないで下さい。
- ・手すりの上に乗ったり身を乗り出さないで下さい。
- ・踏み台や足掛かりになる設置物を置いたり、格子に物を取り付けたりしないで下さい。
- ・当社指定の付属品以外は付けしないで下さい。
- ・子供を遊ばせないで下さい。

*年に一度はネジ、ボルトの緩みや劣化が生じていないか点検して下さい。

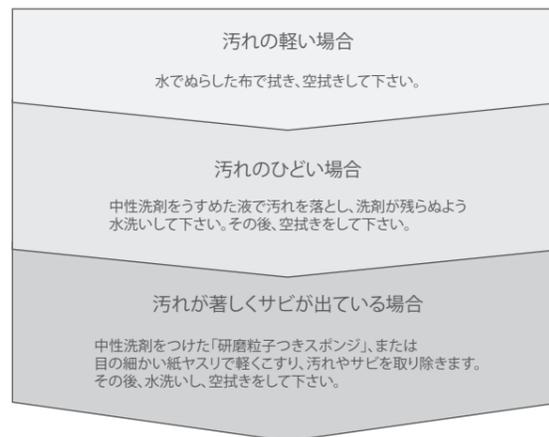
*製品に電線を巻き付けしないで下さい。漏電により感電する恐れがあります。

*手摺の上に乗ったり、身を乗り出さないで下さい。

*手摺にロープ等をかけて、重い物を搬入・搬出しないで下さい。

*ネジやボルトは等は、絶対にゆるめないで下さい。

*当社指定の付属品以外は取付しないで下さい。



保証書

保証者	森田アルミ工業株式会社
保証の対象者	住宅の所有者
対象商品	森田アルミブランドで販売しているエクステリア商品
保証内容	通常の取り扱いによって生じた品質不良、性能、および機能の低下によるもので、かつ当社が認定したものを。
保証期間	当該商品の取り付け完了後2年間。
免責事項	原因が次のような場合は、保証期間であっても有償修理となります。 (イ) 環境が特に悪い場所に取り付けられたもの。 (たとえば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障) (ロ) 保証者の表示した取り扱いから逸脱したもの。 a.モルタル(アルミに接触する部分)に海砂や急結剤を使用 b.中性洗剤以外のクリーニング剤を使用 c.塩分などを含んだ木材を使用 d.施工指示通りに施工がなされていない(コーキング等) (ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。 (ニ) 保証者が表示した以上の性能を必要とする箇所に取り付けられたために発生したものや本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。 (ホ) 不可抗力(天災、地震、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。 (ヘ) 当社供給範囲外のもの。(波板等)

以 上



Handrail

アルミ手摺

Aluminum Handrail
morita aluminum industry ,inc.



目次

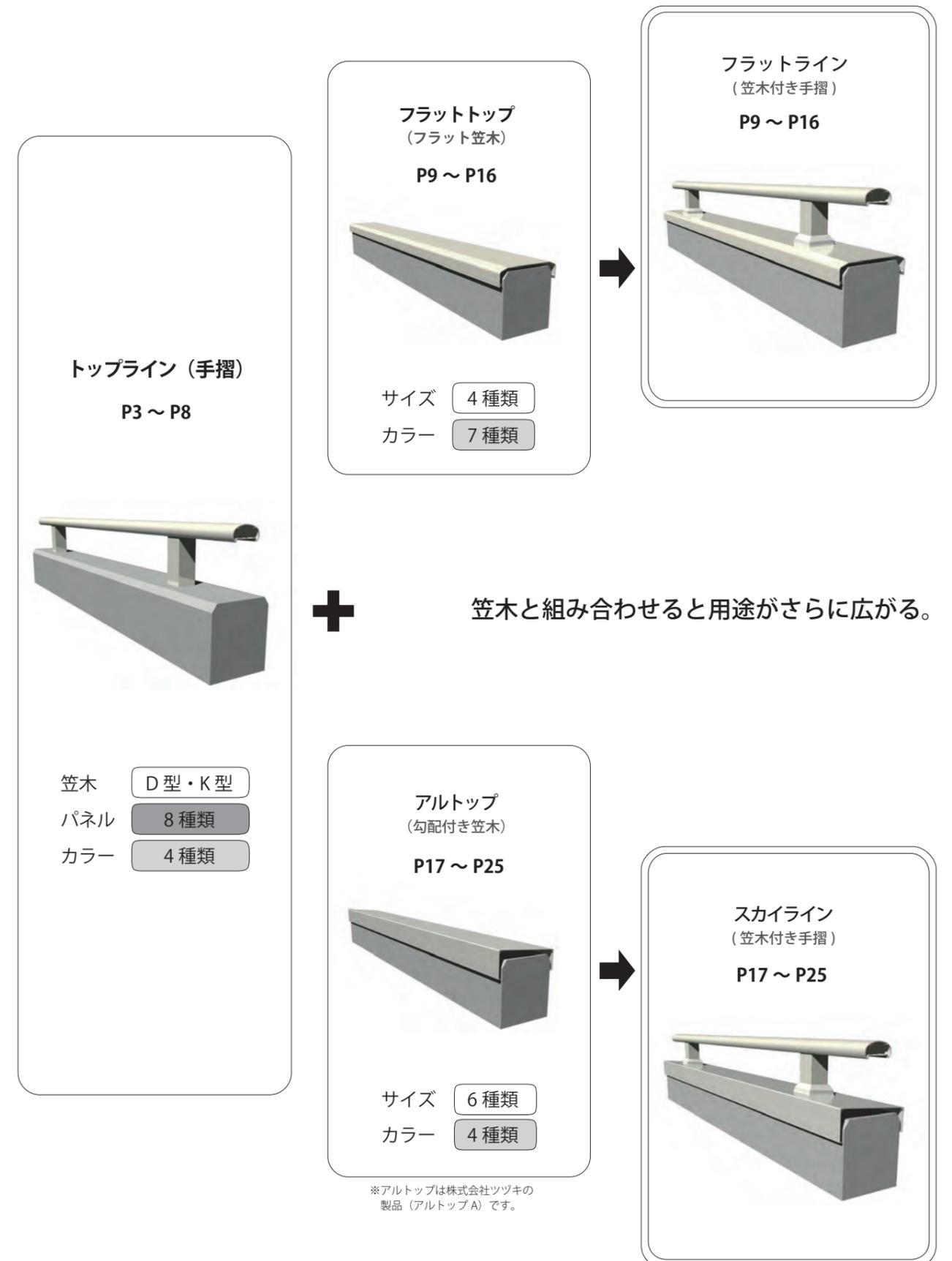
組合わせバリエーション	p. 2
トップライン	
バリエーション	p. 3 - p. 4
施工事例	p. 5 - p. 6
図面	p. 7 - p. 8
フラットライン・フラットトップ	
バリエーション	p. 9 - p.10
施工事例	p.11 - p.12
図面	p.13 - p.16
スカイライン・アルトトップ・下端水切	
バリエーション	p.17 - p.18
施工事例	p.19 - p.20
図面	p.21 - p.25
設計基準・安全基準	p.26

注意事項

※品質向上、製品改良のため予告なしに仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

※弊社の配送業務は大阪府・和歌山県の一部を除き、路線便にて行っております。
 路線便での発送の場合、送料が必要となります。
 詳しくはお問い合わせください。

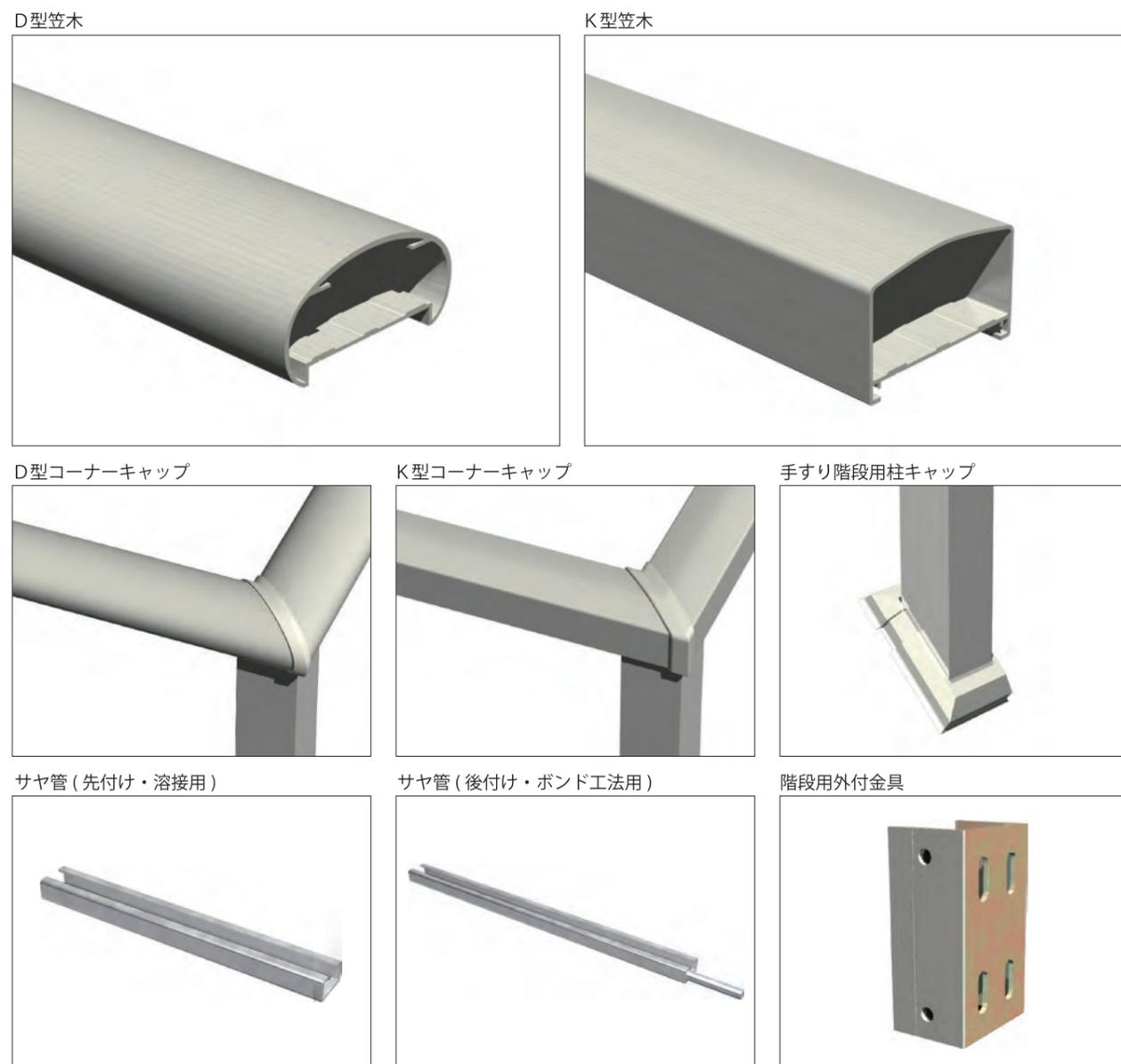
組合せバリエーション



トップライン パネル・バリエーション



手すり・バリエーション & パーツ



カラーバリエーション

	バータイプ	立子タイプ	立子2段タイプ	ガラスタイプ	ガラス2段タイプ	パネルタイプ	パネル2段タイプ
プレーンシルバー							
ステンカラー							
ブロンズ							
ブラック							

トップライン



手摺の安全性や安心といった基本的な要素に、「目隠し」機能やデザイン性を含んだ、多用途な手摺をお選びいただけます。また特注品も対応しております。



1. オーソドックスな格子タイプ



2. 置き基礎タイプ



3. デザインだけでなく踊り場の安全性をも高めます



4. ボンド工法と置き基礎タイプ



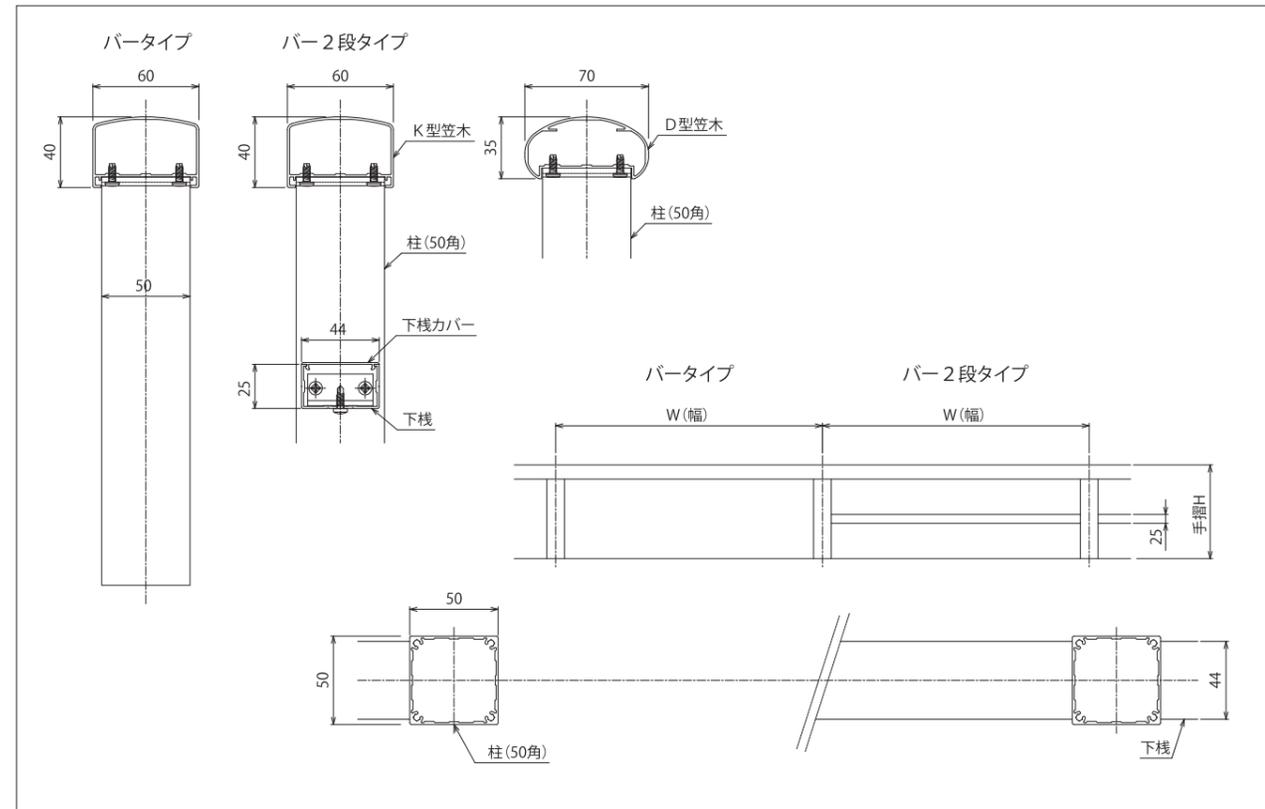
5. パネル仕様で採光を確保し、明るい階段部に



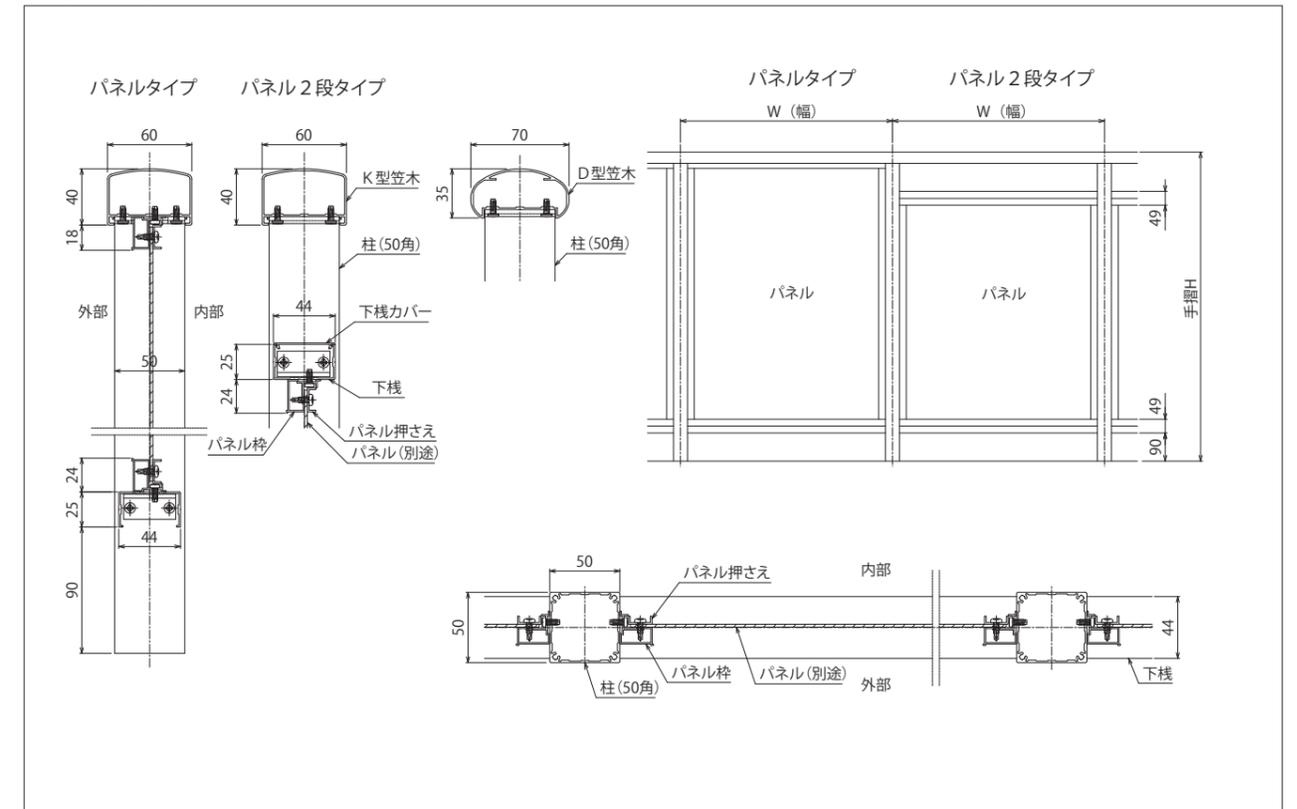
6. オーダーで危険防止柵も

トップライン

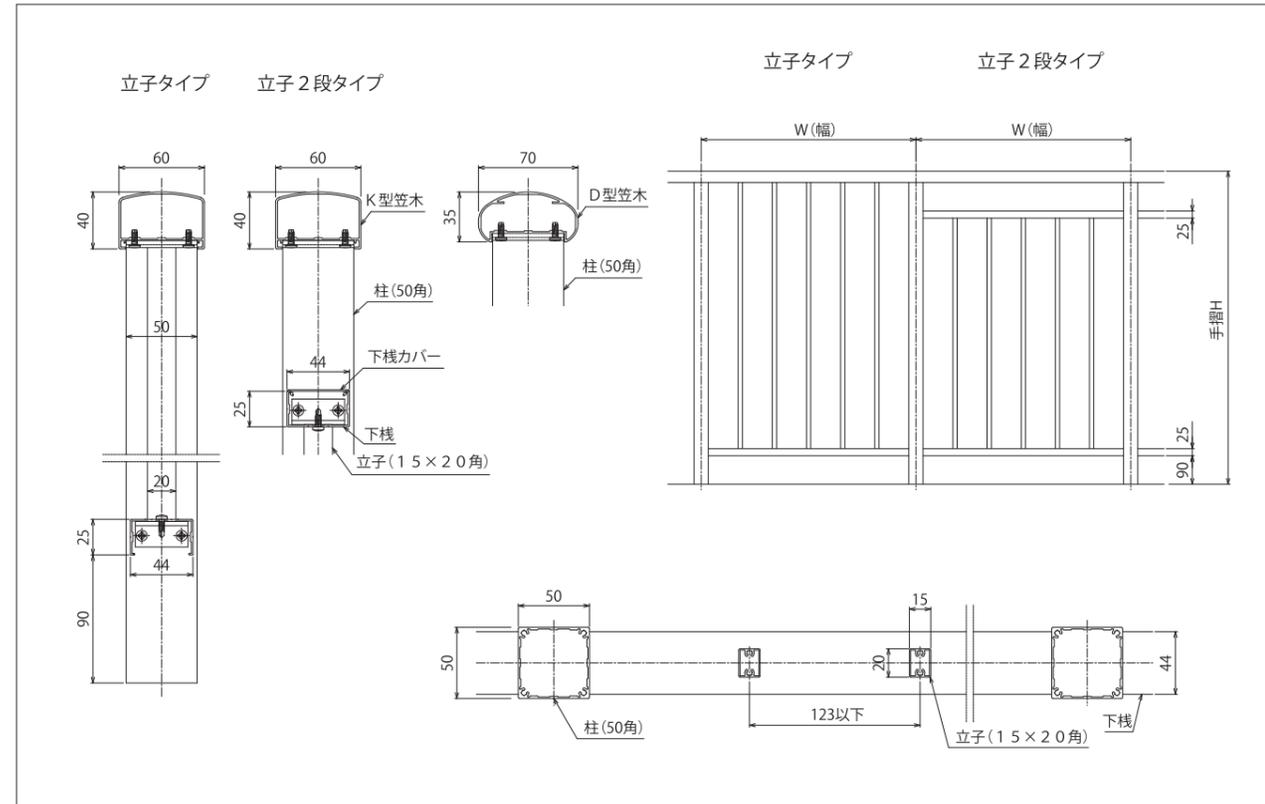
バータイプ



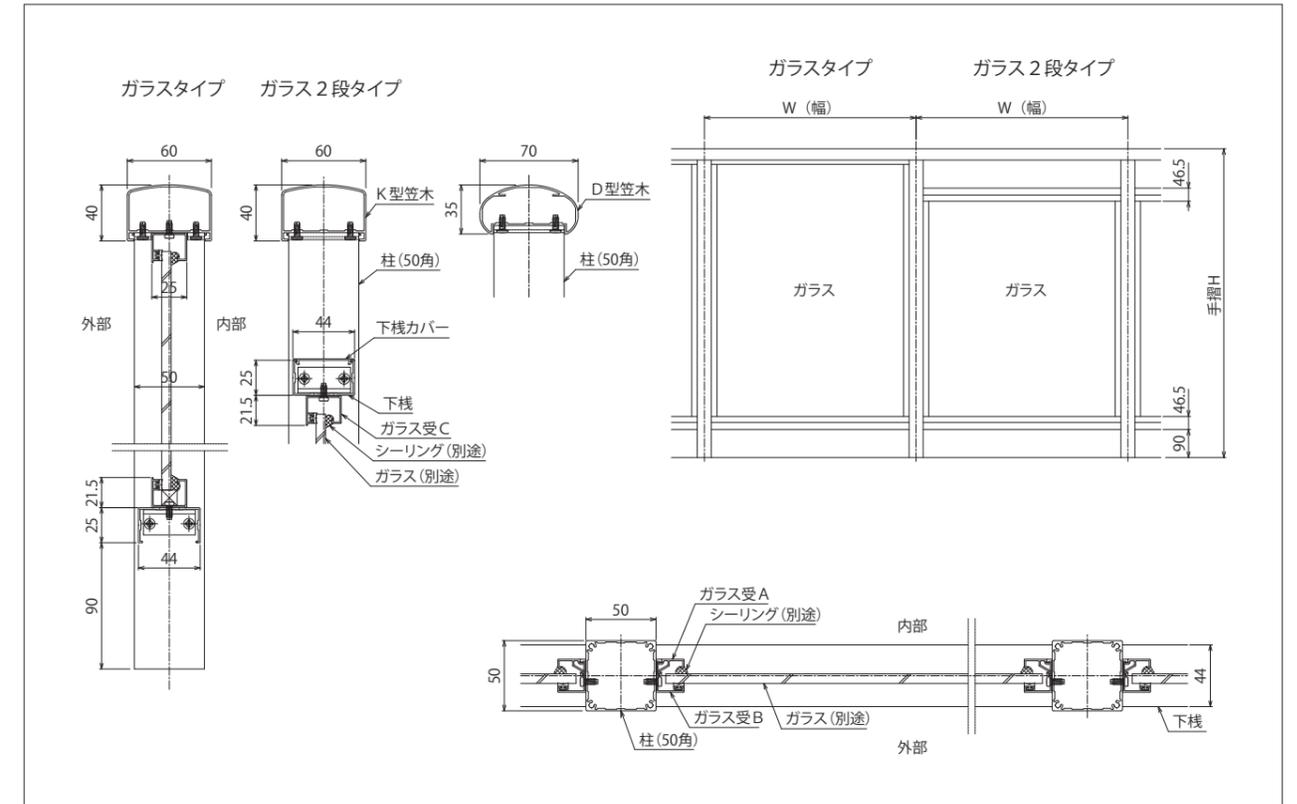
パネルタイプ



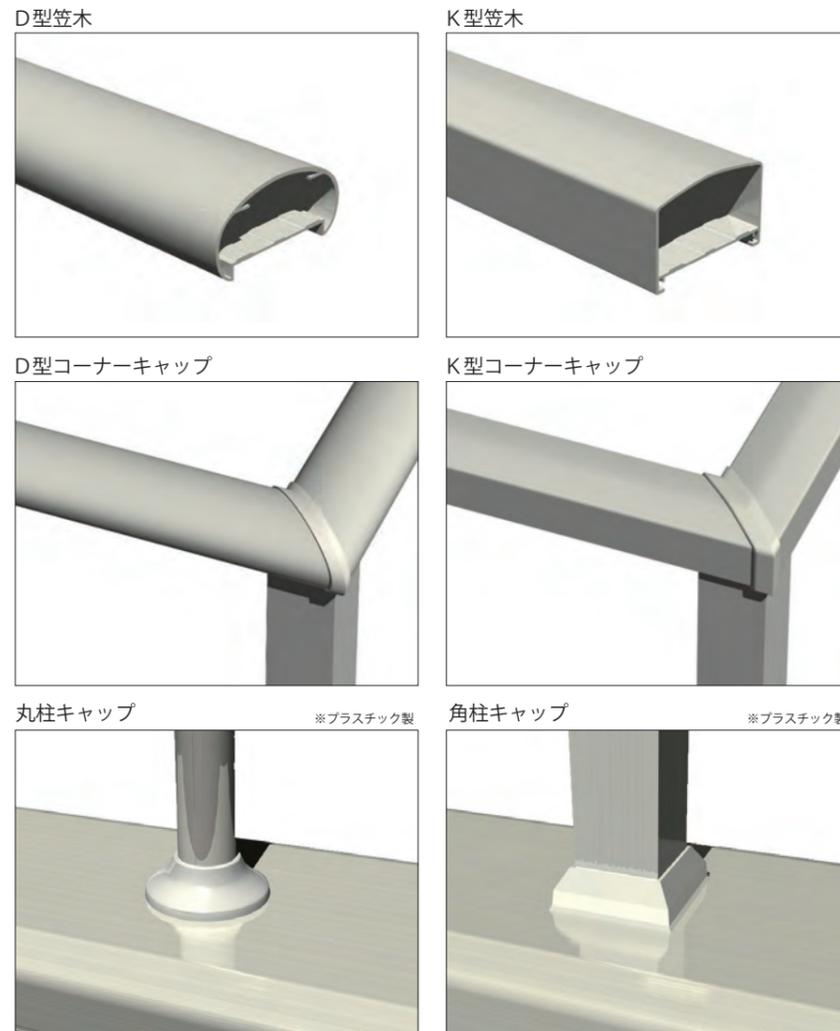
立子タイプ



ガラスタイプ



フラットライン 手すり・バリエーション & パーツ

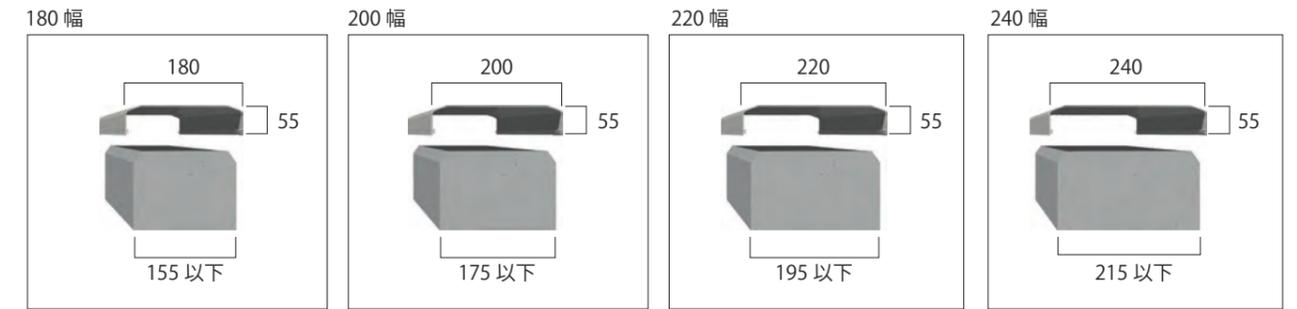


カラーバリエーション

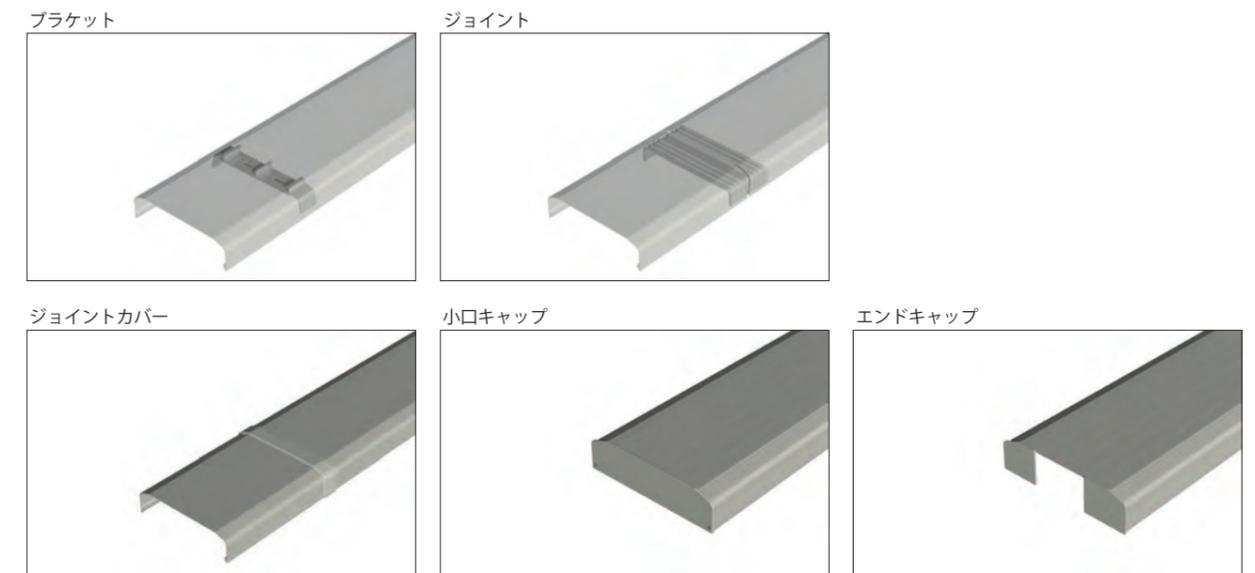
	丸柱 タイプ	バー タイプ	立子 タイプ	ガラス タイプ	パネル タイプ
ブレンシルバー	D型のみ				
ステンカラー	D型のみ				
ブロンズ	D型のみ				
ブラック					
Mブラウン	D型のみ				
ダークブロンズ	D型のみ				
ホワイト	D型のみ				

注) 本製品には防水機能はありません。下地には必ず防水処理をして下さい。

フラットトップ サイズバリエーション



パーツ

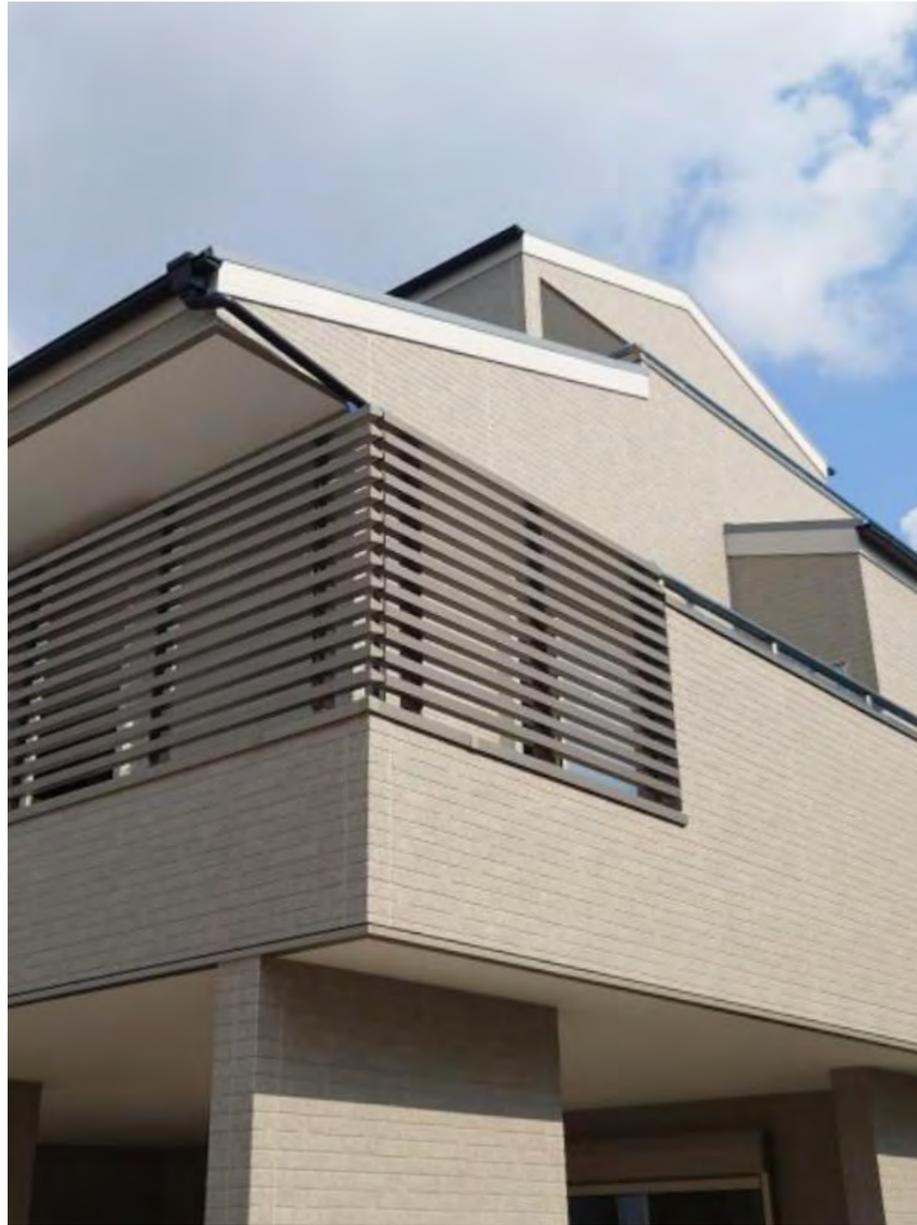


カラーバリエーション

	180	200	220	240
ブレンシルバー				
ステンカラー				
ブロンズ				
ブラック				
Mブラウン				
ダークブロンズ				
ホワイト				

注) 本製品には防水機能はありません。下地には必ず防水処理をして下さい。

フラットライン / フラットトップ



フラットラインは建物のデザインをやわらかく引き立てます。
フラットトップとトップラインを組み合わせ、充実した機能をもった手摺が完成します。



1. ベランダの手摺として



2. 色によってシャープでスタイリッシュな演出も



3. モダンな住宅にも調和します



4. 色合わせをして安全と落ち着きのあるトーンに



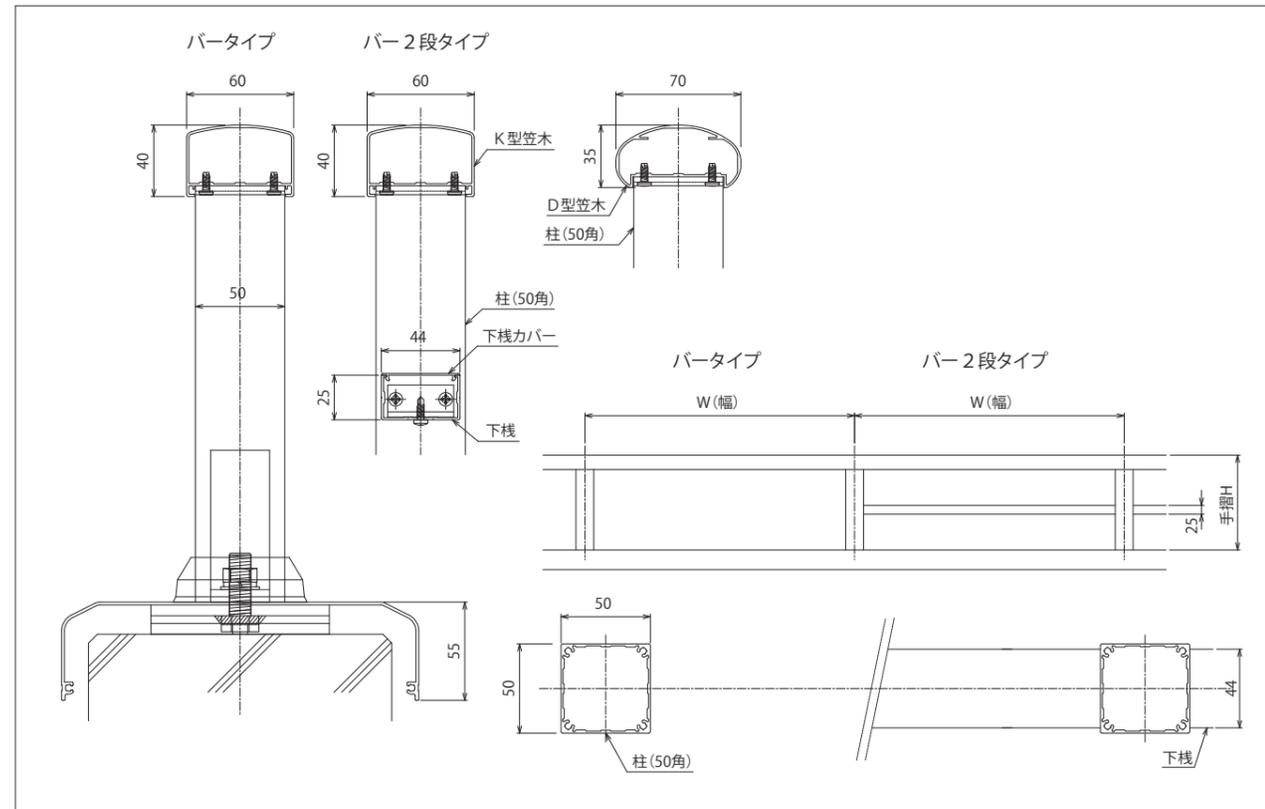
5. 建物をより引立てながらメンテナンス減少へ



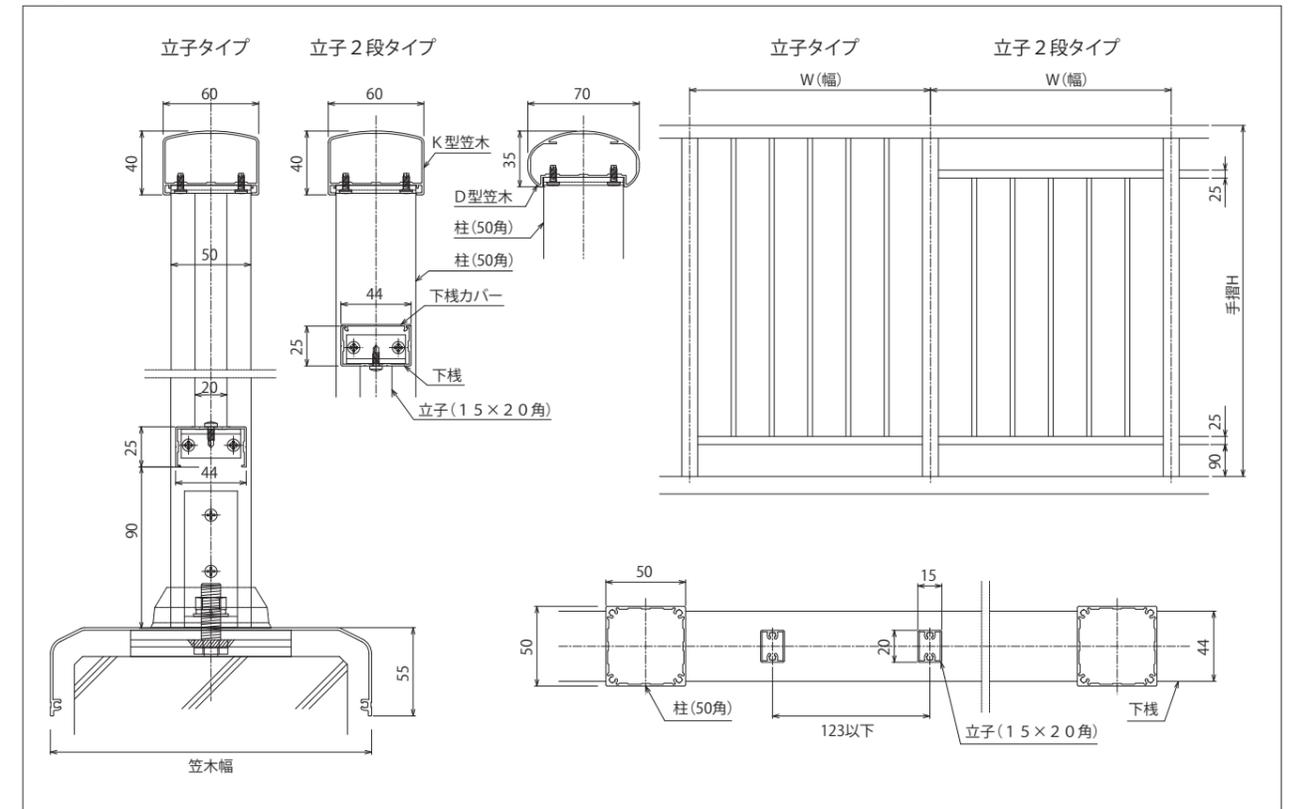
6. 極力シンプルに見せたい場合にも

フラットライン

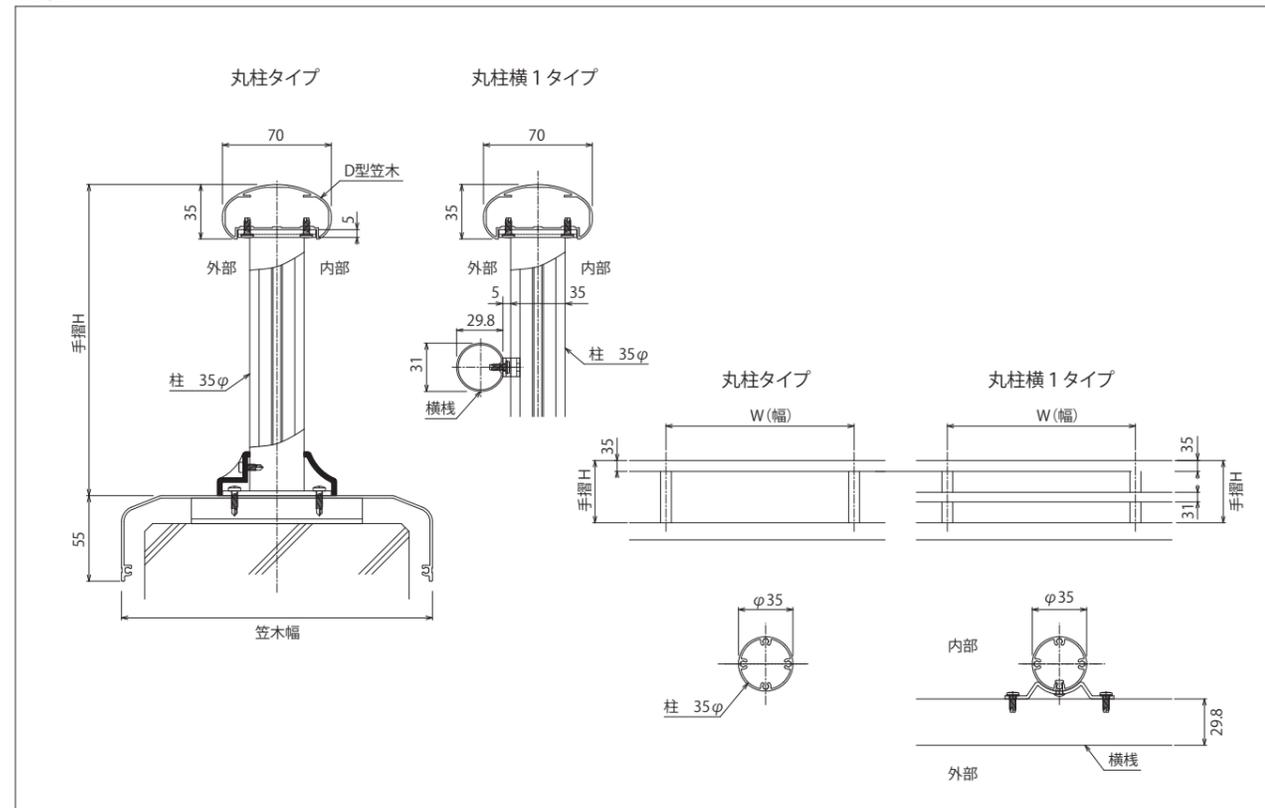
バータイプ



立子タイプ

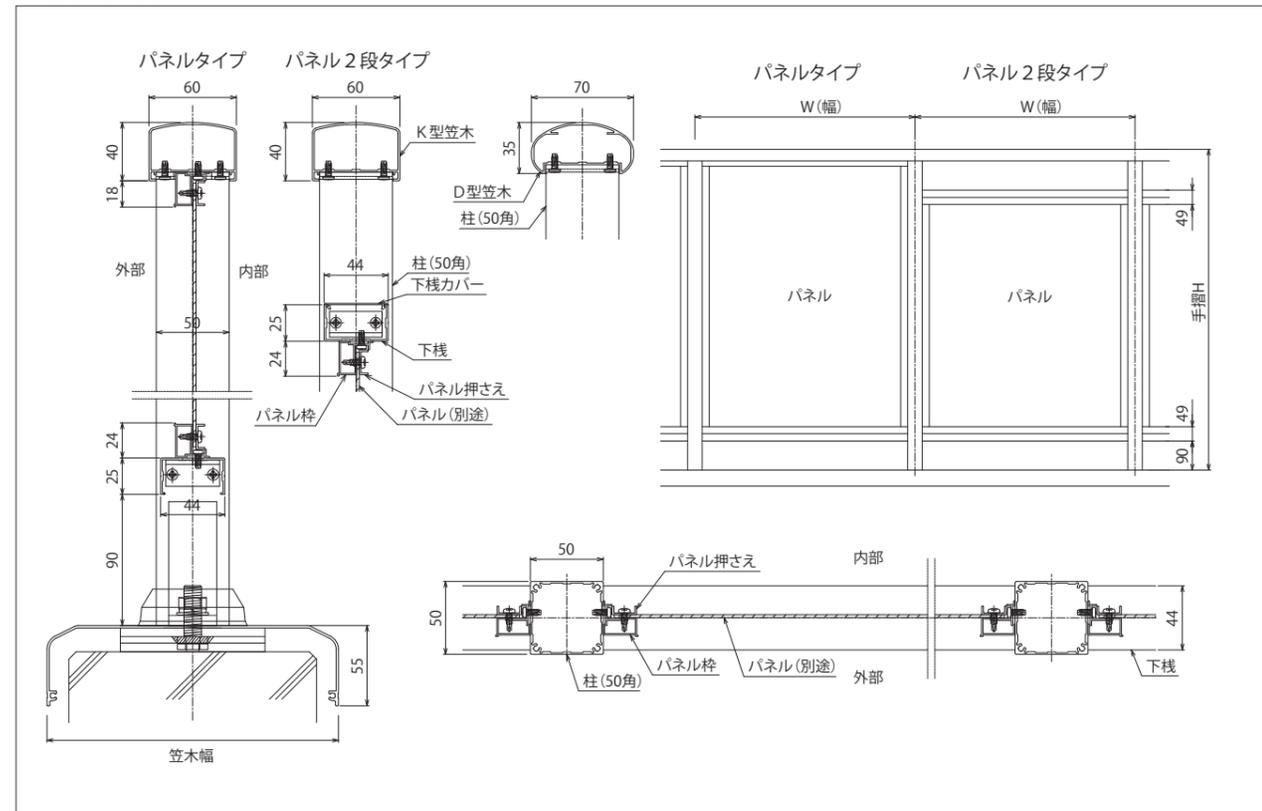


丸柱タイプ

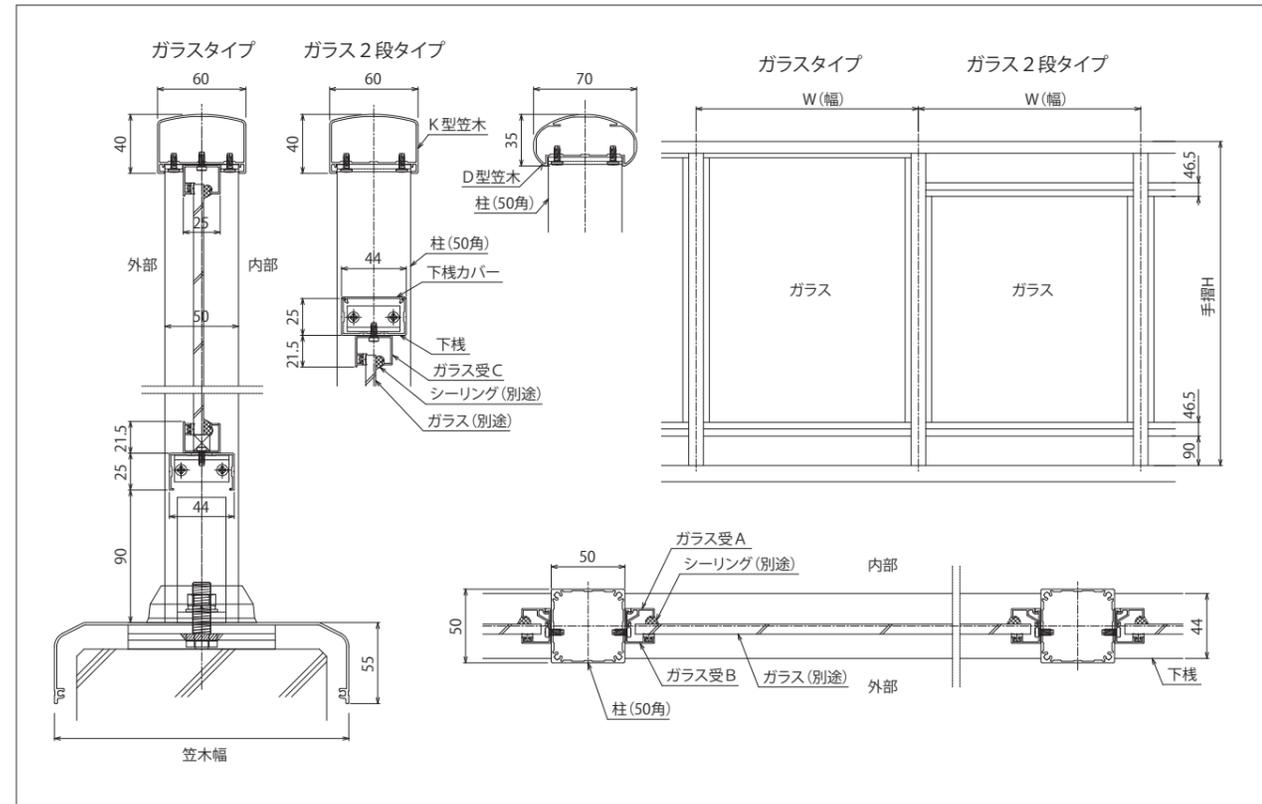


フラットライン

パネルタイプ

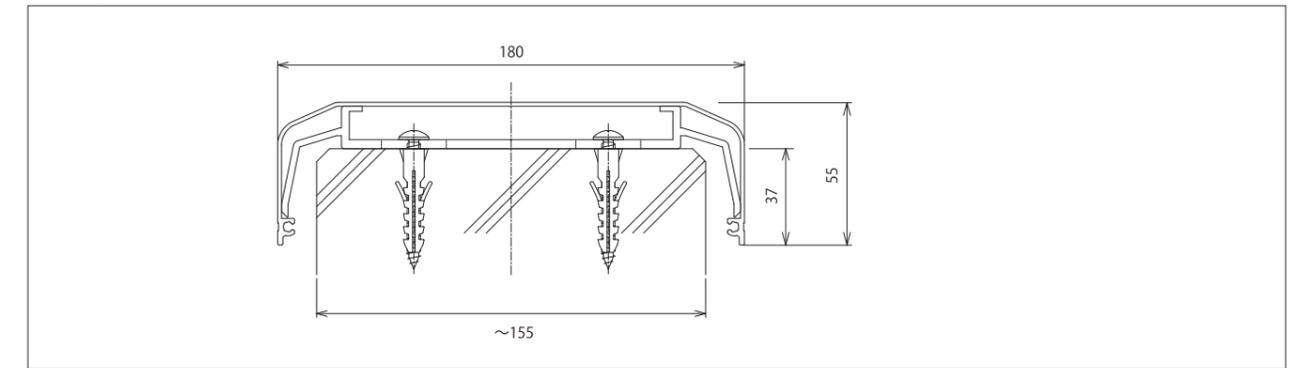


ガラスタイプ

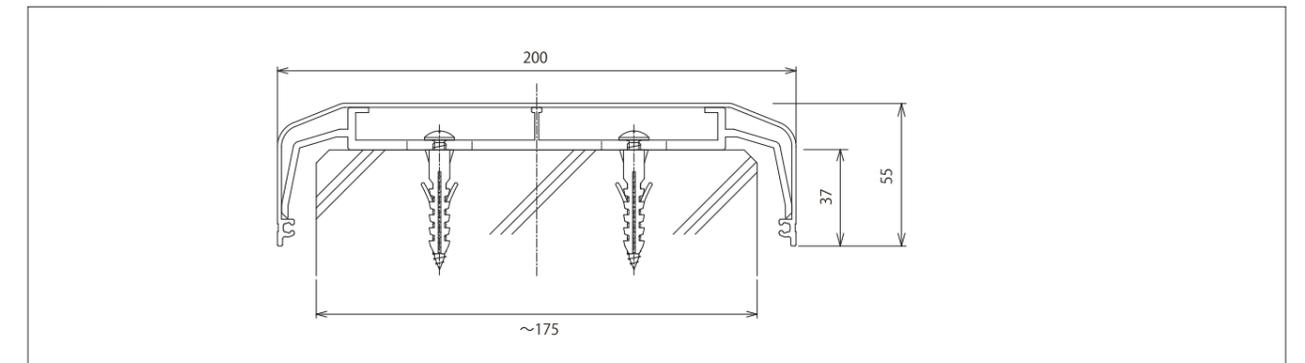


フラットトップ

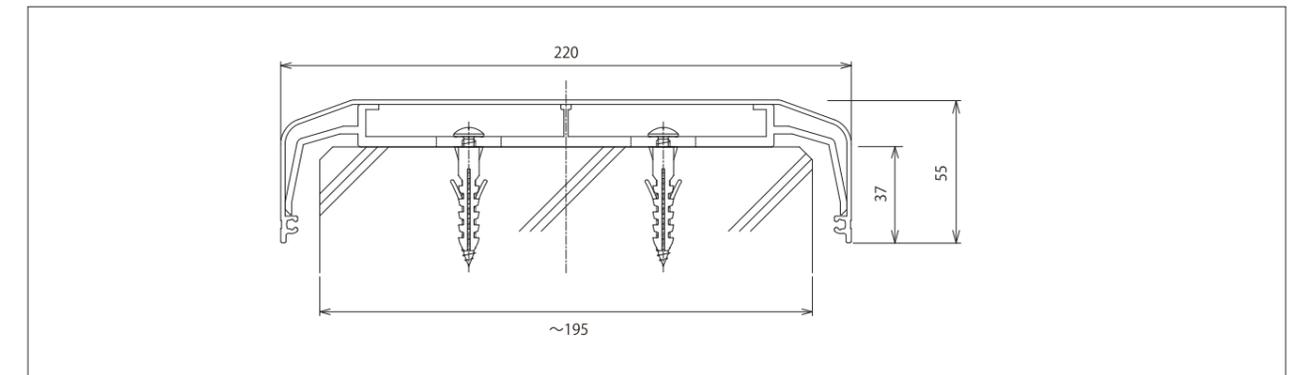
180 幅



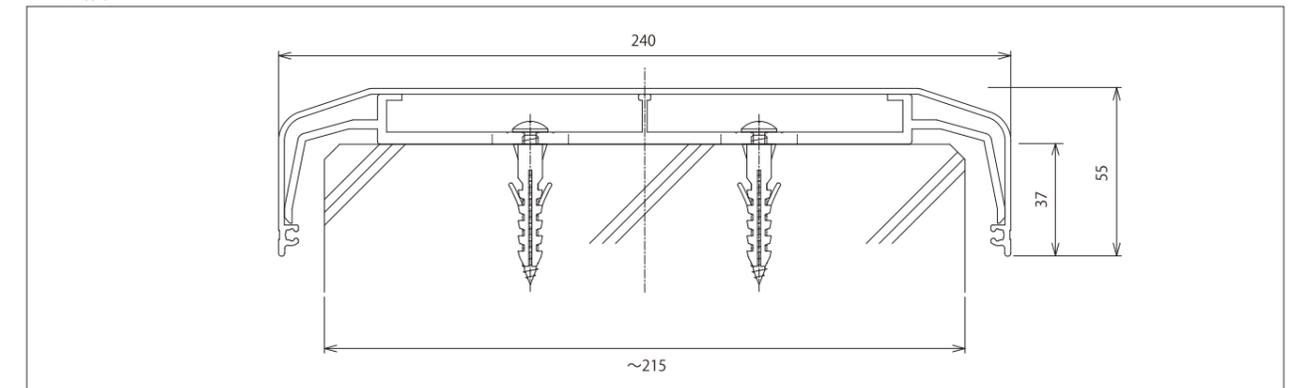
200 幅



220 幅



240 幅



スカイライン 手すり・バリエーション & パーツ



カラーバリエーション

	バータイプ	立子タイプ	ガラスタイプ	パネルタイプ
プレーンシルバー ※				
ブラック				
ステンカラー				

※笠木がシルバーとなります。

注) 本製品には防水機能はありません。下地には必ず防水処理をして下さい。

アルトトップ・下端水切 サイズバリエーション



パーツ



カラーバリエーション

※アルトトップは株式会社ツツキの製品「アルトトップA」です。他商品と色が異なります。

	130	150	175	200	225	250	70	120
シルバー								
ダークブロンズ								
ブラック								
ステンカラー								

注) 本製品には防水機能はありません。下地には必ず防水処理をして下さい。

スカイライン / アルトップ / 下端水切



手摺は安全のためと、もう一つ建物のデザイン性を高めることが出来るエクステリアです。同系色で建物全体のイメージをやわらかく演出したり、変化をつけて引締めることも可能です。手摺一つで建物のイメージがガラッと変わるのです。



1. リフォームで手摺を一新



2. ガラスタイプで採光を確保



3. スタンダードで長持ちのスカイライン



4. 手摺で安全と建物のイメージを仕上げるデコレーションに



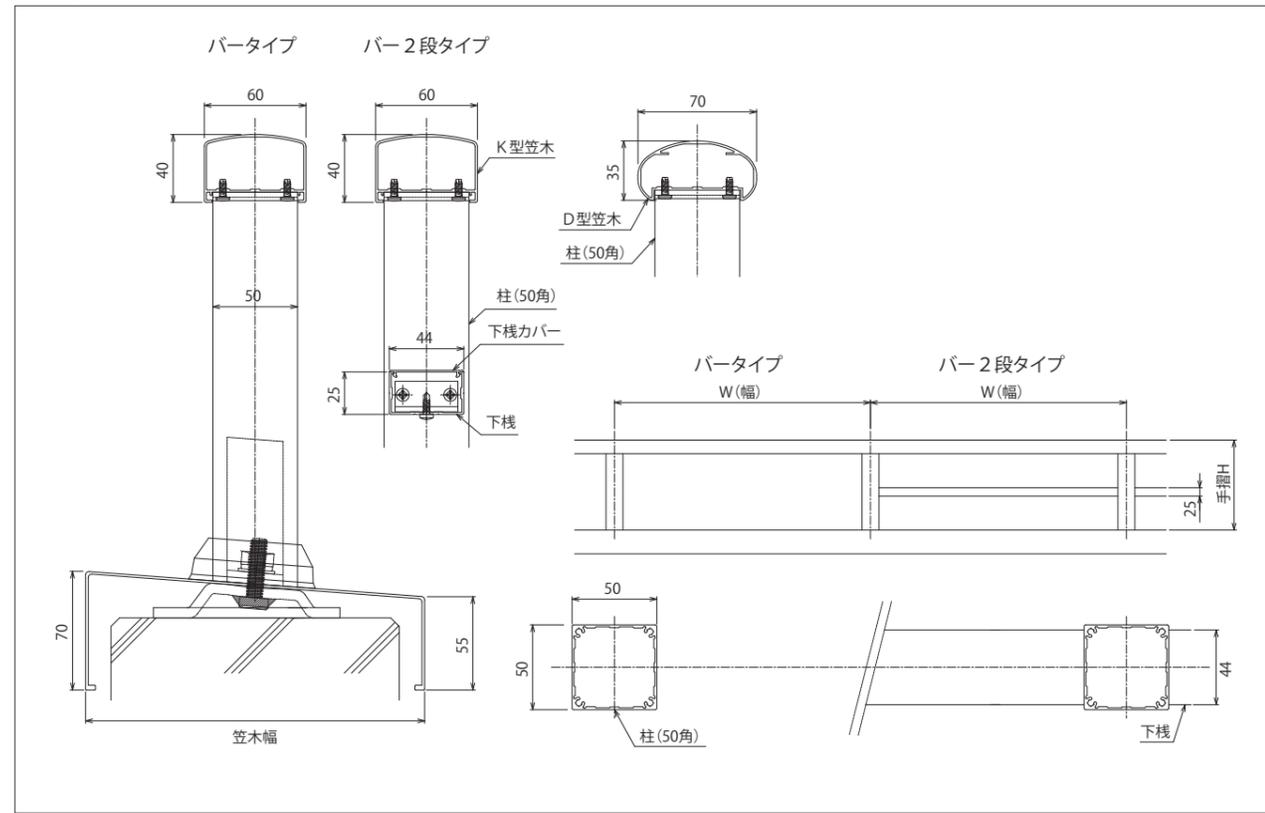
5. 集合住宅やビルなどに



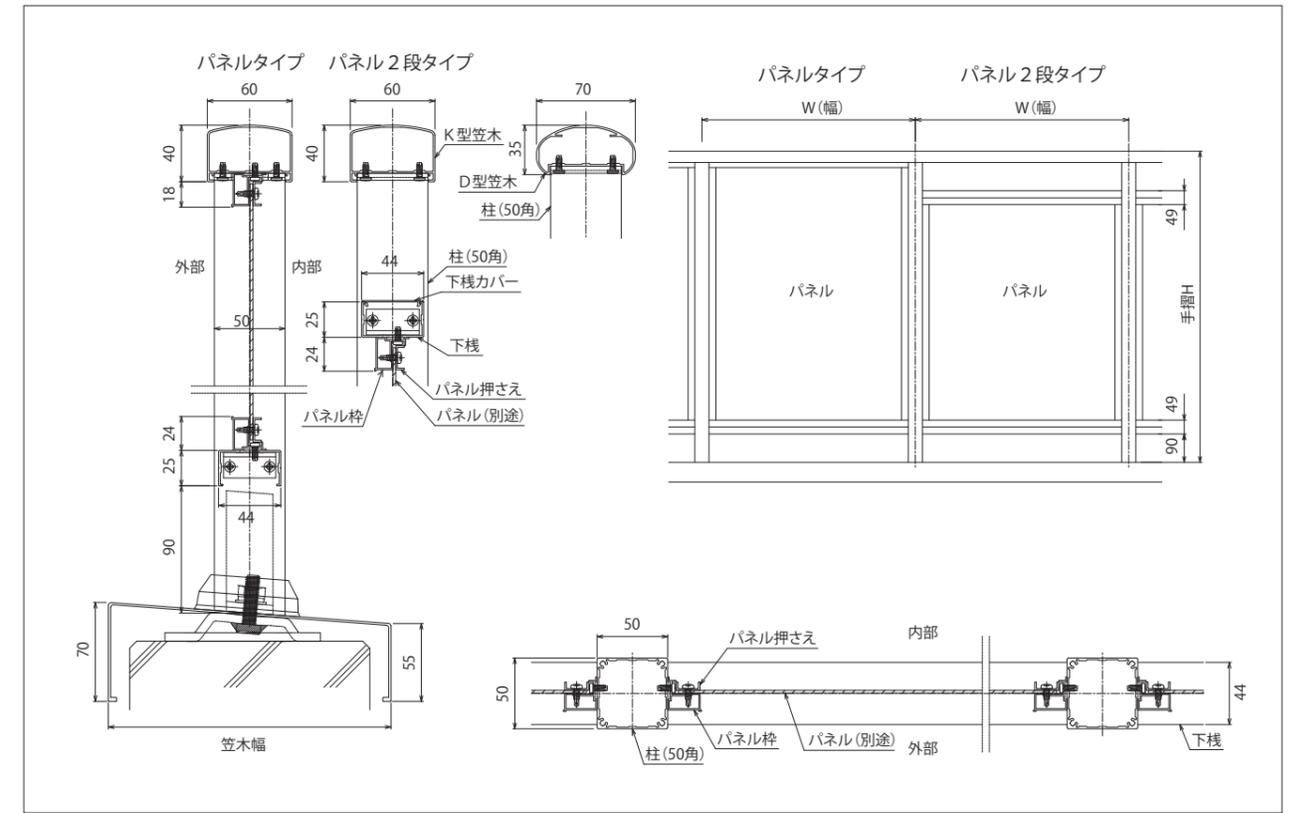
6. 屋上屋根部分の保護にも

スカイライン

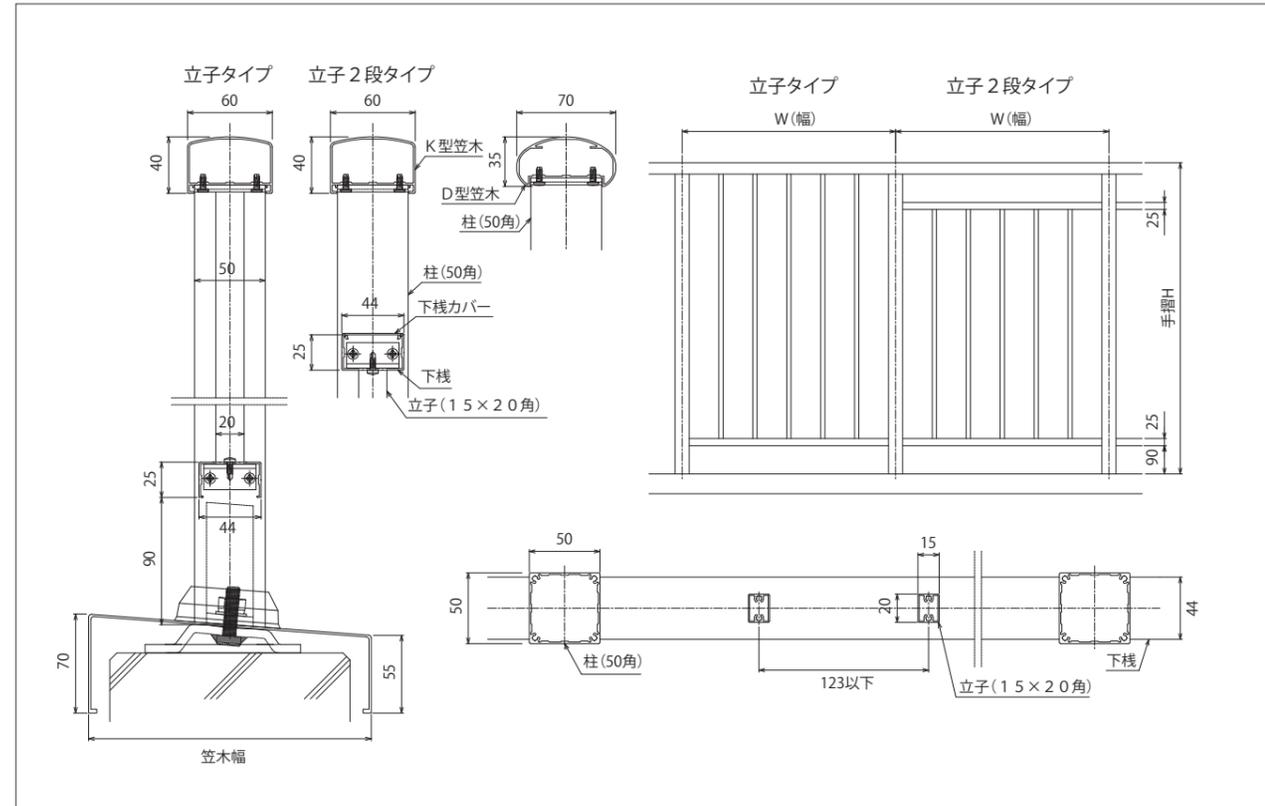
バータイプ



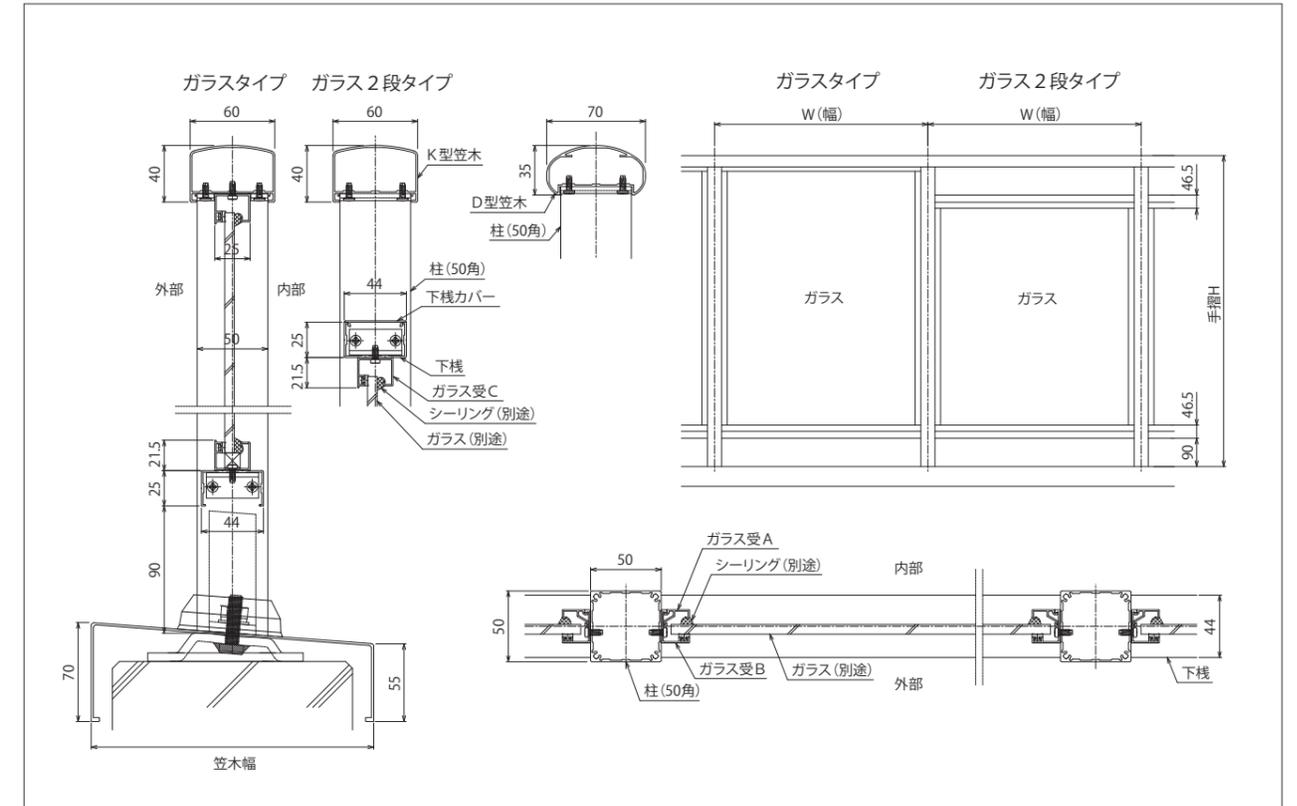
パネルタイプ



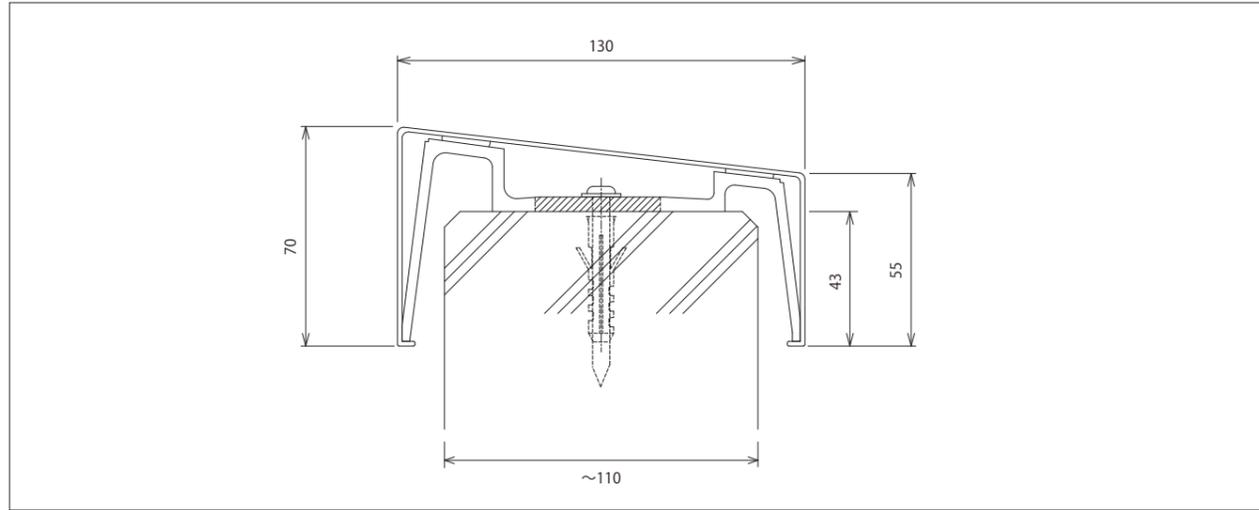
立子タイプ



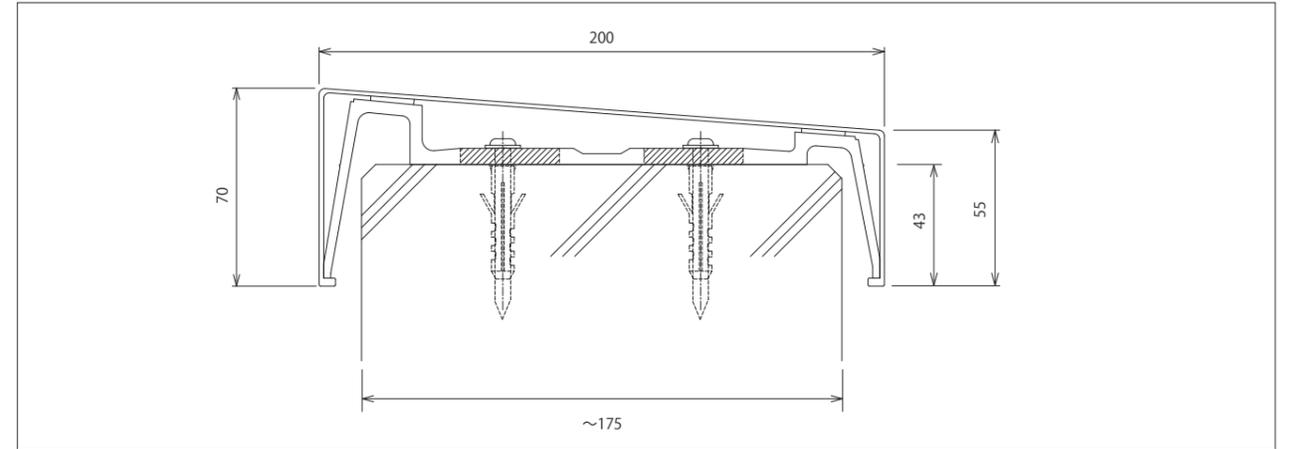
ガラスタイプ



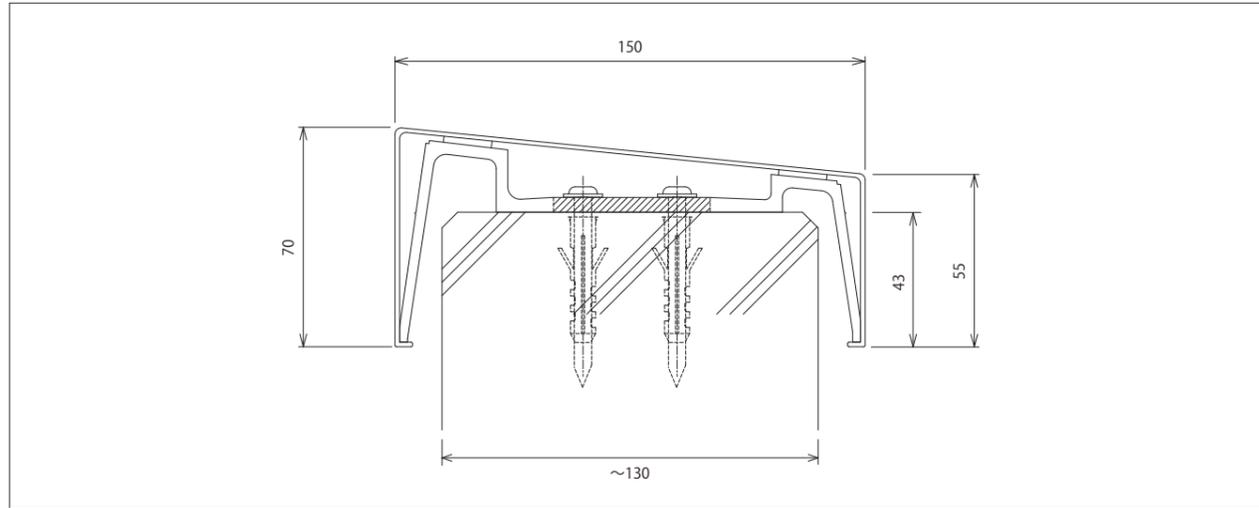
130 幅



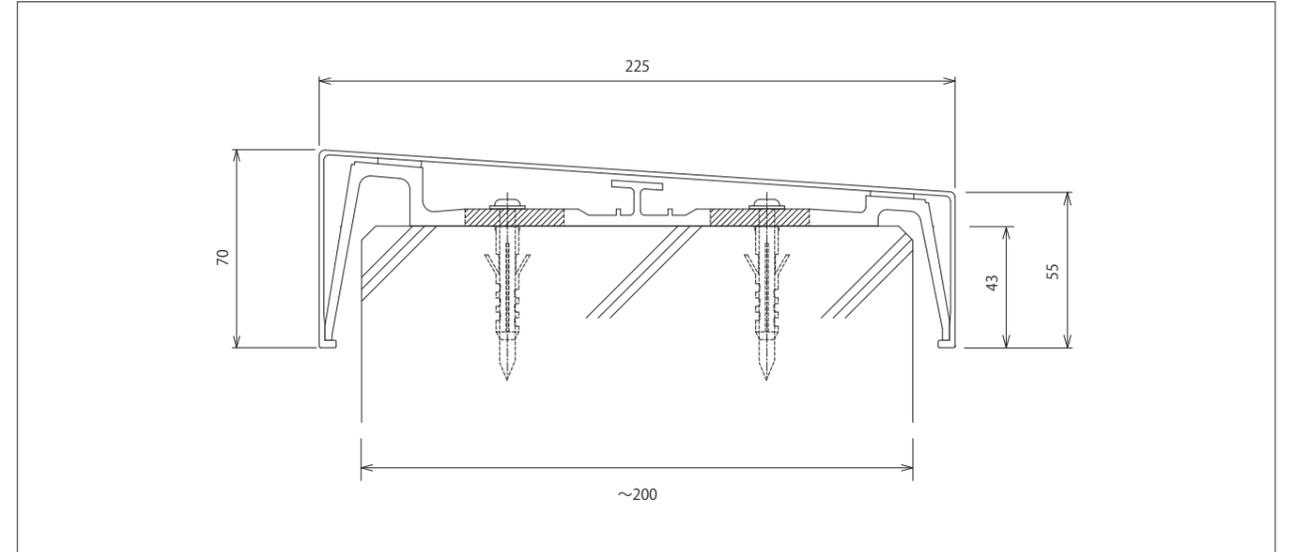
200 幅



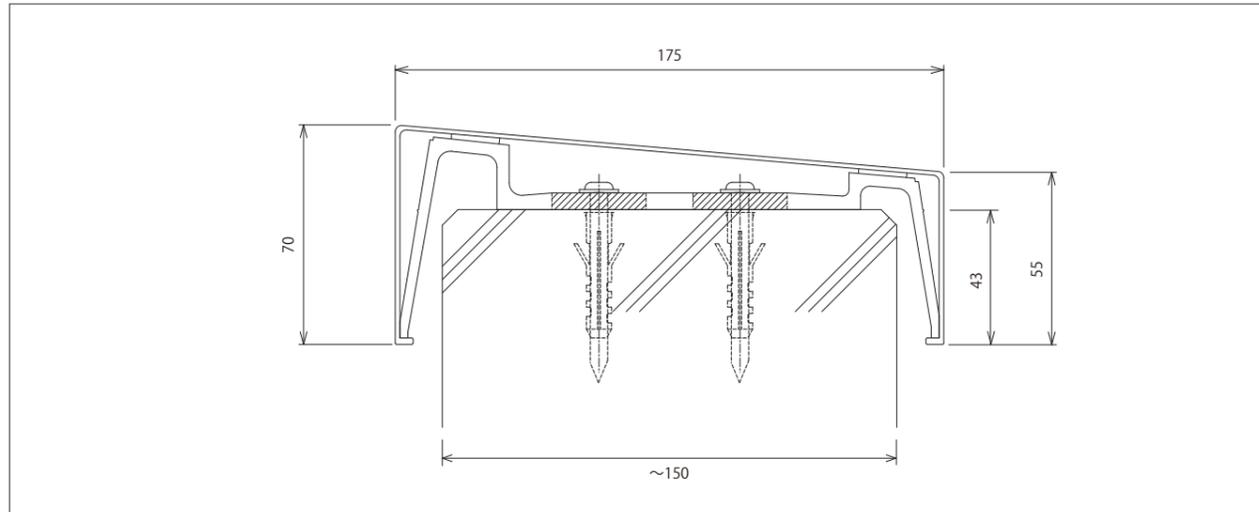
150 幅



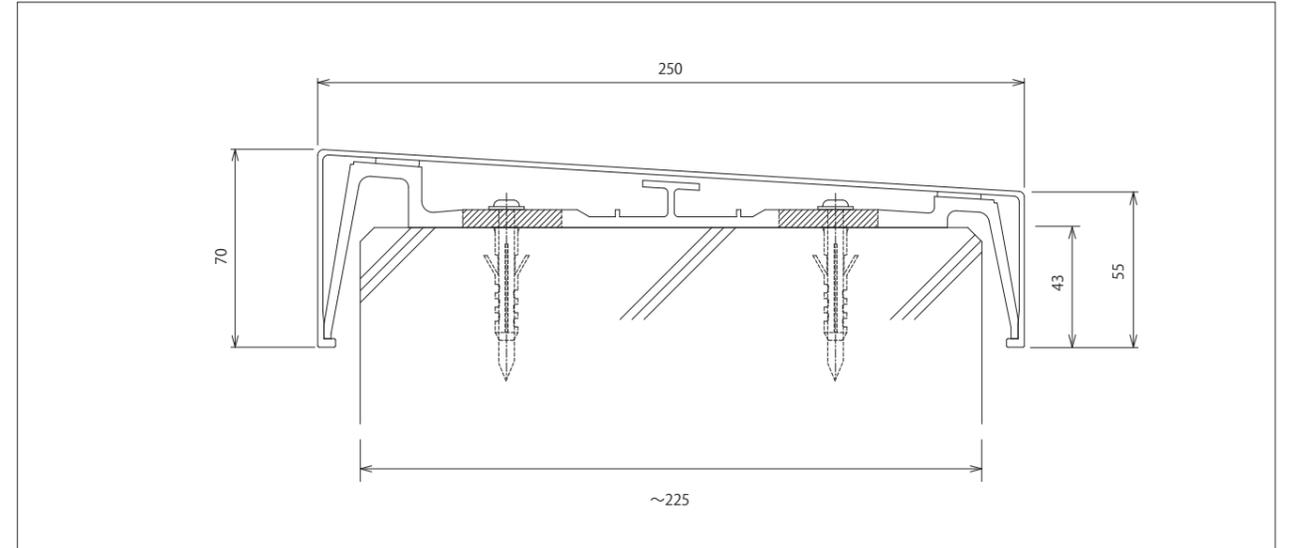
225 幅



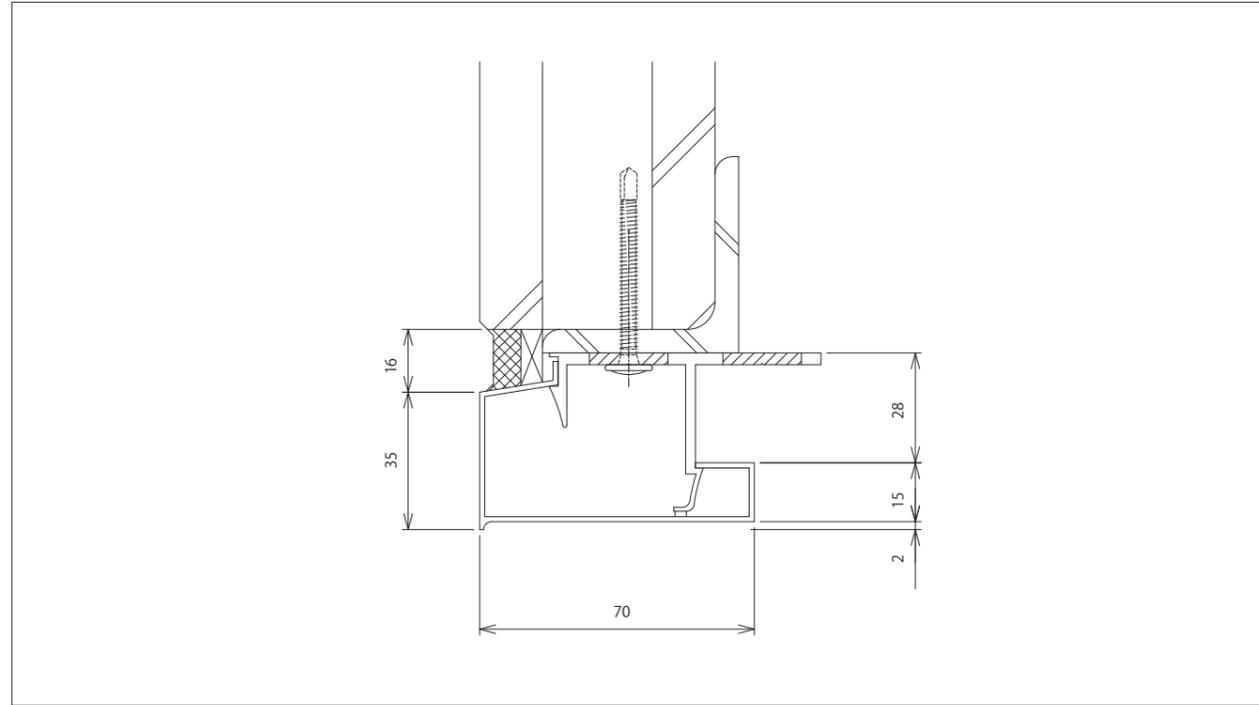
175 幅



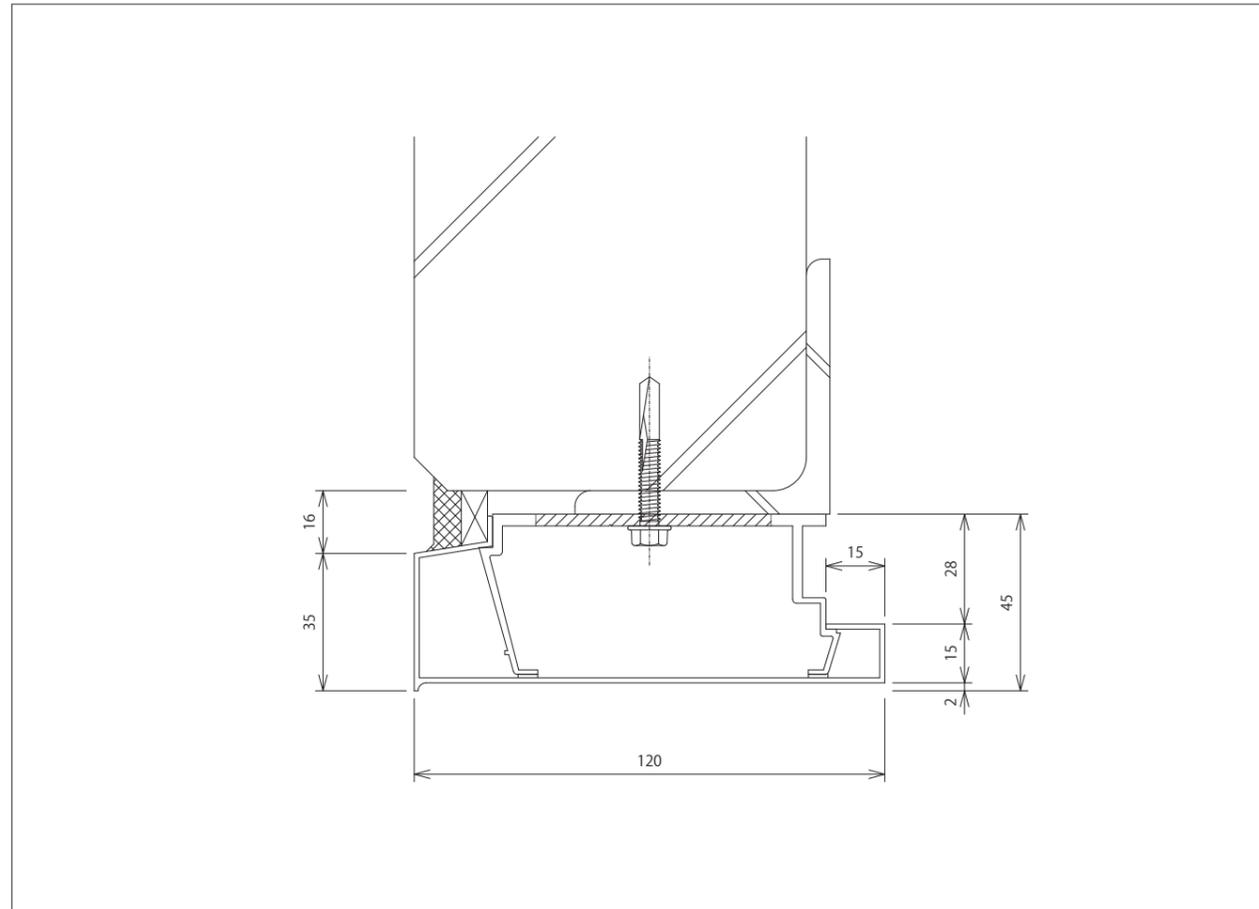
250 幅



下端水切 70 幅



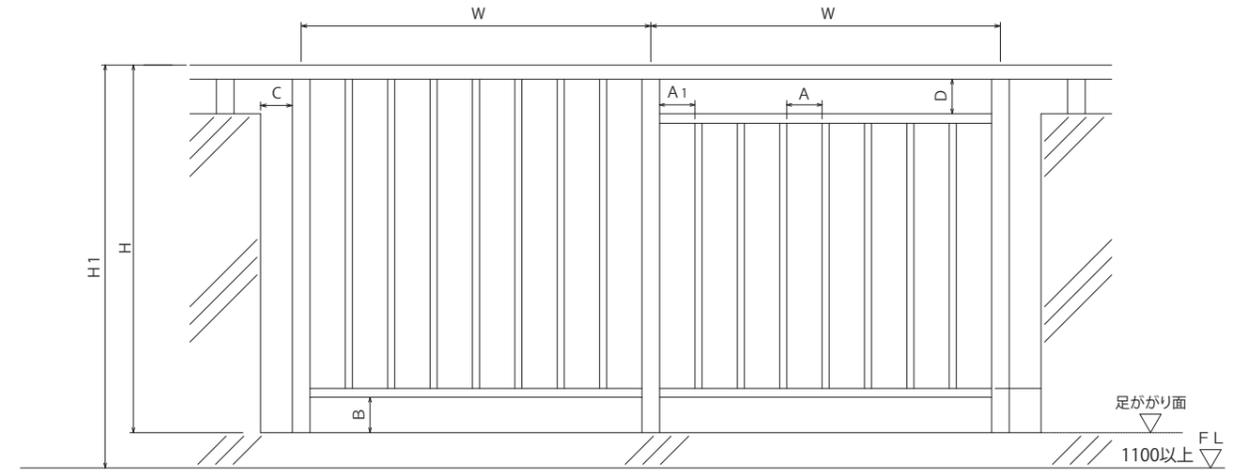
下端水切 120 幅



手摺りの安全性と設計寸法基準

手摺りの機能には、人を墜落から守る柵としての役割があります。
 弊社の手摺りの各設計基準の寸法は、人、特に幼児の落下防止を考慮して設計しています。

○ 手摺りの設計基準と関連法規・関連基準



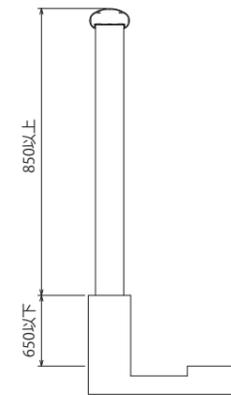
(単位:mm)

項目	当社設計基準	基準の根拠	関連法規・関連基準			
			建築基準法 施工令第126条	UR都市機構	公営住宅建設 基準第36条	BL規格 評定基準
H	1100以上	成人の落下を防止する高さ	×	1100以上	1100以上	1100以上
H1	1100以上	建築基準法	1100以上	×	×	1100以上
A	110以下	幼児の頭が通らない寸法	×	110以下	110以下	110以下
A1						
B	90以下	幼児の胴体が通らない寸法	×	75以下	×	90以下
C						
D	110以下	幼児の頭が通らない寸法	×	×	×	110以下

	立子タイプ	ガラスタイプ	パネルタイプ	バータイプ
W	1300以下	950以下	950以下	1300以下

○ 幼児の墜落を防止と手摺の高さ

幼児が足をかけてよじ登ることができる高さを通常650mmとし、幼児の墜落を防止する高さを850mmとしています。
 手摺の下棧には自立できないとみなしています。



立上り壁が650mm以上あっても、床面から850mmまでは、幼児がすり抜けないように横格子の隙間を110mm以下にします。

